

平成 24 年 2 月 17 日

各 位

会 社 名 大同工業株式会社
代表者名 取締役社長 新家康三
(コード番号 6373)
問合せ先 常務取締役管理本部長 平野信一
(TEL. 0761-72-1234)

第 9 次中期経営計画策定に関するお知らせ

大同工業株式会社および当社グループ各社は、2012～2014 年度を計画対象期間とする第 9 次中期経営計画を策定いたしましたので、その概略についてお知らせいたします。

記

I. 第 9 次中期経営計画の目指す姿

アジアなど成長市場の需要を取り込むため、第 8 次中期経営計画（2009～2011 年）で推進したグローバル事業体制をさらに加速させ、二輪・四輪用製品の海外生産の更なる拡大、海外拠点の R & D 機能の強化、販売製品群の拡大等を図っていきます。

一方、グローバル展開の更なる推進は、本社マザー工場のものづくりの空洞化を伴います。その穴を埋めるべく、また、チェーンに代わる将来の収益源となる柱を確立すべく、新たな事業分野に挑戦し、新規事業の確立を目指します。

新たなステージに向けたこれら取組みを強力に推進するためには、その担い手となる人財の育成強化が急務となっています。優秀な人財の能力、モチベーションを最大限に活かすことにより、事業の各機能を強化し、常に発展しつづける企業体質づくりを進めます。

II. 経営スローガン

『新たなステージへの変革』 ～Innovation to the next stage～

III. 会社方針

1. グローバル事業の更なる展開を図る

- ① グローバル化を積極的に展開し、新興国など世界の成長を取り込む
- ② 既存海外拠点の販売製品群の拡大
- ③ 2 輪・4 輪事業の海外生産の更なる拡大
- ④ 国内産機事業の強化と海外事業への展開

2. 新規事業を創出する

- ① 新商品の開発（本社空洞化対策、事業領域の拡大）
- ② 自由な発想による新規分野の開拓
- ③ M & A、アライアンス、産学連携等による外部技術（事業）の取り込み
- ④ 既存技術伝承と独自技術による需要開拓

3. 次世代を担う人財を育成する

- ① グローバル人財の育成及び強化
- ② 海外赴任、海外研修のしくみづくり
- ③ 人財の現地化推進

IV. 数値目標

本計画最終年度となる 2014 年度において、連結売上高 500 億円、連結営業利益 40 億円（営業利益率 8%）の達成を目指します。

以 上

目指す姿

アジアなど成長市場の需要を取り込むため、第8次中期経営計画（2009～2011年）で推進したグローバル事業体制を更に加速させ、二輪・四輪用製品の海外生産の更なる拡大、海外拠点のR&D機能の強化、販売製品群の拡大等を図っていきます。

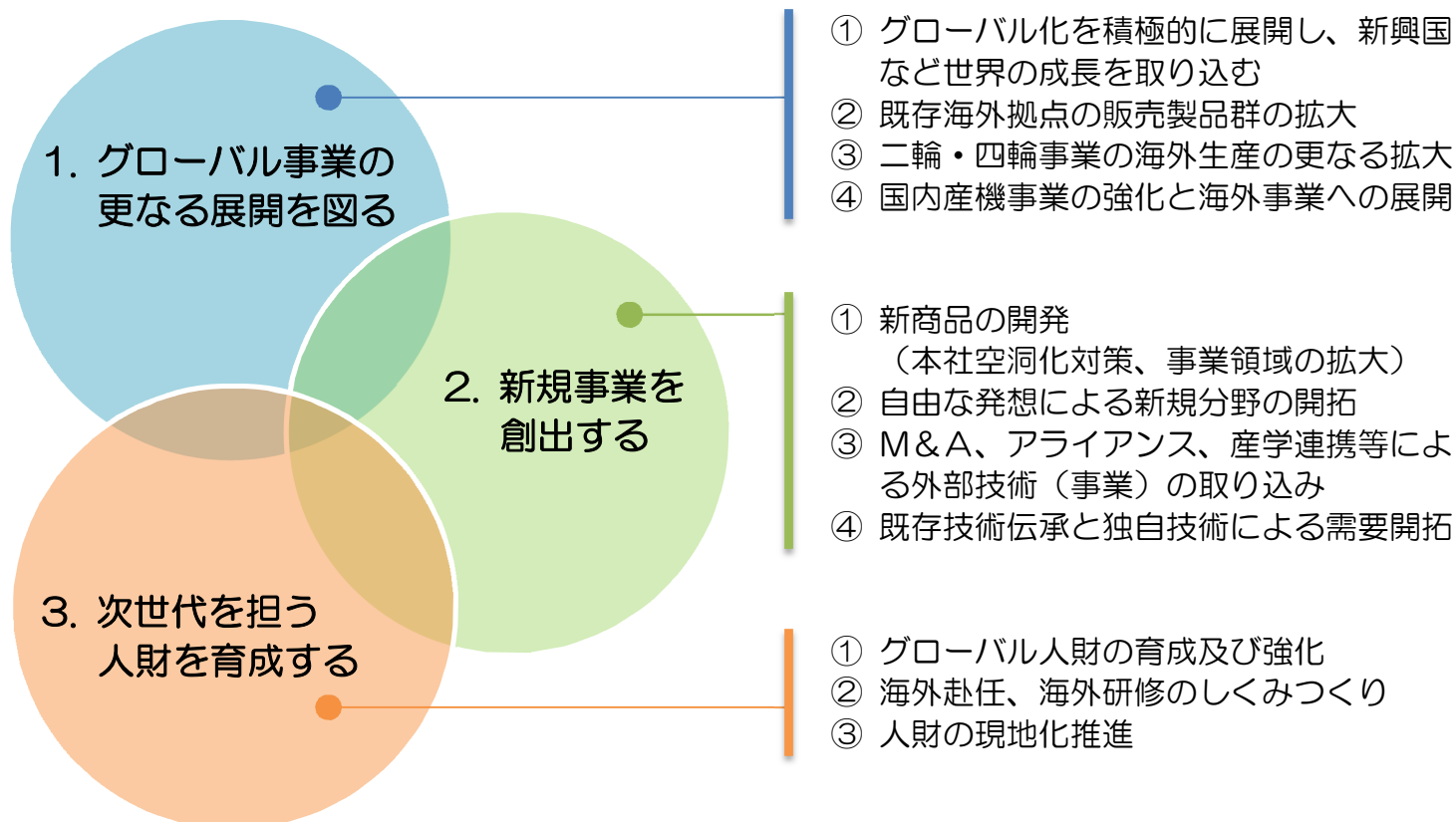
一方、グローバル展開の更なる推進は、本社マザー工場のものづくりの空洞化を伴います。その穴を埋めるべく、また、チェーンに代わる将来の収益源となる柱を確立すべく、新たな事業分野に挑戦し、新規事業の確立を目指します。

新たなステージに向けたこれら取組みを強力に推進するためには、その担い手となる人財の育成強化が急務となっています。優秀な人財の能力、モチベーションを最大限に活かすことにより、事業の各機能を強化し、常に発展しつづける企業体質づくりを進めます。

経営スローガン

『新たなステージへの変革』 ～Innovation to the next stage～

会社方針



数値目標



連結
売上高

500億円



連結
営業利益

40億円

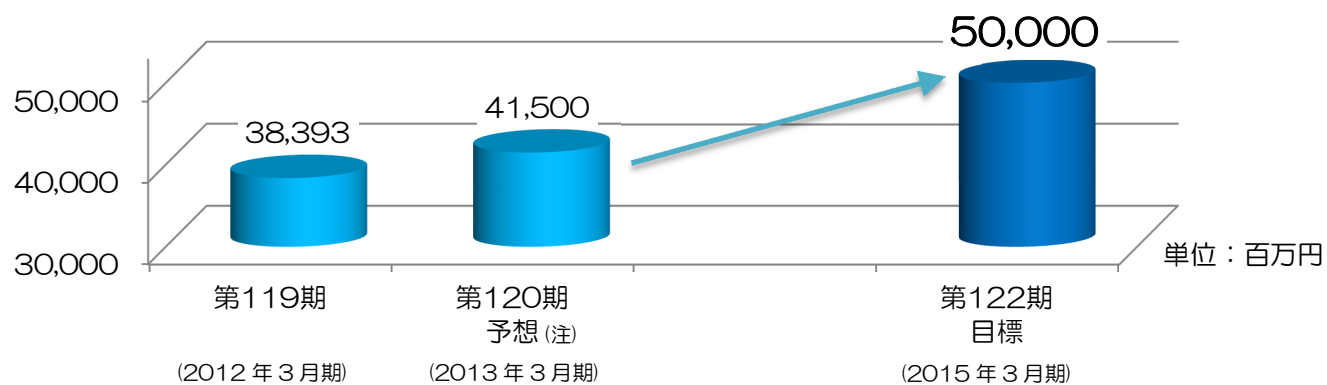


連結営業
利益率

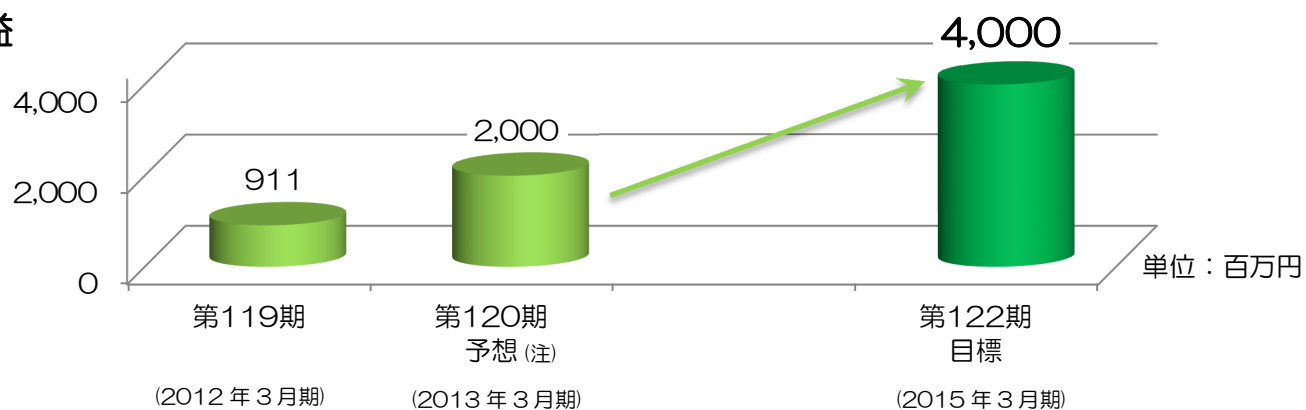
8%

為替レート 1ドル=80円 11-0=110円

売上高



営業利益



(注) 2012年5月11日現在

事業別施策

四輪事業

- ・世界5生産拠点（日本・タイ・中国・米国・インドネシア）の相互補完により合理的な生産・供給・販売体制を構築する。
- ・原価管理を徹底し、利益率の高い事業体質を創る。
- ・DIDチェーンシステムの量産納入を拡大し、四輪市場でのシェアアップを図る。

二輪事業

- ・インドでの生産体制を確立し、市場競争力あるチェーン生産体制を確立する。
- ・タイ生産子会社におけるチェーンのR&D機能を強化し、開発のスピードアップとコストダウンを図る。
- ・ドライブチェーンのグローバル仕様を確立し、各海外生産拠点での現調化対応を図る。

産機事業

- ・高機能・高性能を中心とした搬送用チェーンの生産体制を再構築し、多品種・少量生産を強化する。
- ・量産不採算品の海外調達により、採算改善と拡販を行う。
- ・国内・海外メーカーとの連携を強化し、需要が更に伸びるアジア、シェアの低い欧州における拡販を行う。

AS事業

- ・コスト低減活動により事業の採算性改善を行う。
- ・いすゞ式曲線型新製品の開発及び徹底した品質改善により『楽ちん号』『エスカル』ブランドの再生を図る。

技術開発

- ・成長分野（環境、エネルギー、EV、BOP等）への参入を目指し、新規事業の企画・開発を行う。
- ・グローバル市場で必要とされ続けるため、各拠点からのニーズに応えることのできる新製品・新技術開発を行う。
- ・グローバルニーズに対応できるスピーディな開発体制の構築を目指す。
- ・グローバル経営に必要なIT化の推進を行う。

生産

- ・四輪チェーン更なる体質改善のため、生産管理のIT化と工程間搬送の自動化を行う。
- ・二輪チェーンシールチェーンの最適コストを追求し競争力を更に高める。
- ・産機部門残す技術と調達する技術を明確にしてサプライチェーンを構築するとともに、高機能高付加価値、標準品それぞれに見合う生産ラインの再整備を行う。
- ・アルミ・ホイル部門利益創出のため、自動化・省人化を中心に工場再構築を行う。

調達・管理部門

- ・個々の能力、適性を活かして新規事業やグローバルフィールドで活躍できる人材を育成する。
- ・グローバル調達を拡大し、コストダウンを図る。
- ・リスクアセスメントを定着させ、災害を未然に防止する体制を確立する。
- ・海外拠点との連携を強化し、世界同一品質保証体制を構築する
- ・企業知名度、企業価値の向上を図る。